

東光コンサルタツの技術短信 No.34 (道路)

アセットマネジメントとは、資産を効率よく管理・運用することで、証券や不動産の業界でよく使われています。地方自治体でのアセットマネジメントとは、住民から預かった税金を道路や橋の整備に投資するとき、効率的、効果的に、そして適切に配分することで、より良い公共サービスとして還元することでしょう。

言い換えれば、道路施設である道路（舗装）、橋、トンネル等を資産として捉え、道路構造物の状態を客観的に把握・評価し、資産の状態を予測するとともに、いつどのような対策をどこに行うのが最適であるかを考慮し、計画的かつ効率的に管理することです。道路アセットマネジメントの導入により、更新時期の平準化と費用の最小化を図りながら、対症療法型から予防保全型の道路管理への転換が可能となります。

道路アセットマネジメントでは、**費用便益分析**を行い、プロジェクトを進める例があります。たとえば東京都では、道路の社会的便益について以下のように考えてられているようです。



図-1 道路の社会的便益模式図

◆ 便益の項目

1. 走行時間短縮便益：走行時間が短縮されることによる便益
2. 走行経費減少便益：走行経費（ガソリン費やタイヤ費等）が減少することによる便益
3. 交通事故減少便益：交通事故が減少することによる便益
4. 走行快適性便益：走行快適性の向上により得られる便益
5. 環境便益：環境負荷が低減することにより得られる便益

◆ 諸外国の首都環状道路の整備状況との対比

首都圏道路整備の現状を諸外国と比べてみると図-2 のようになります。パリ、ベルリン、北京、ソウルといった都市では、環状道路の整備率は80%を超えていますが、東京ではいまだに30%台の整備率です。このように整備率が低い反面、既往の資産である道路（舗装）、橋梁、トンネル等は高齢化が進み、約20年後には築50年を超える道路構造物が非常に多くなると予測されています。したがって費用対効果を考えた新規整備と既往資本のアセットマネジメントの実施が必須となるでしょう。

● 雑学 34: エコロードとは

生態系に配慮し、環境に対する影響を極力減らすべく設計された道路。具体的には、植樹によって野鳥の飛行コースを妨げない工夫を凝らした道づくりをしたり、野生動物の生息域分断を避けるために道路下にトンネルを設置したり、側溝に落ちた野生生物たちのためにつくられる脱出用スロープを設置したりしています。



図-2 首都圏環状道路整備の現状



図-3 高齢化する道路構造物

□環状道路計画のご紹介

〈弊社の道路ソフト系技術です〉

最近の代表的な道路計画系業務では、下図(CG)のような都内の環状道路拡幅計画業務を行っています。道路交通のさらなる高度化を図るため、弊社が長年培った道路設計ノウハウを發揮し業務を進めています。業務内容は、東京都環状第6号線構造物設計のうち、中野長者橋から要町交差点まで延長約5kmの街路設計、擁壁設計等と、パースや大型PR看板作成・説明用マップ作成などの広報資料作成です。



★東光トピックス：東京都西多摩建設事務所より感謝状を受領しました！

8月3日(火)11時より、東京都建設局西多摩建設事務所にて、『平成20年度東京都西多摩建設事務所長優良工事等感謝状贈呈式』が執り行われ、弊社は「道路詳細設計及び擁壁詳細設計(友田町一丁目)設計業務の成果により、池田事務所長より感謝状と盾を受領しました。

この業務は、東京都青梅市友田町一丁目の滝山街道(一般国道411号線)の拡幅計画で、比較的短い200mのS字曲線を安全性に着目して沿道の出入り、運転者の視距確保と共に歩道整備設計を行ったものです。特に構造物設計では、自立式土留工や重力式擁壁を民家との境界部の狭隘な箇所、沿道環境に配慮した形で実施も勘案し計画を取り纏めました。



写真-1 池田事務所長(中)と共に弊社堀社長(左)と安藤課長(右)



写真-2 受賞した盾



株式会社 東光コンサルタンツ

技術本部

担当営業:

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目32番1号

TEL: 03-5950-7203 FAX: 03-5950-3652

URL: <http://www.tokoc.co.jp>

担当: 本社事業部 技術第1部 鈴木、安藤